

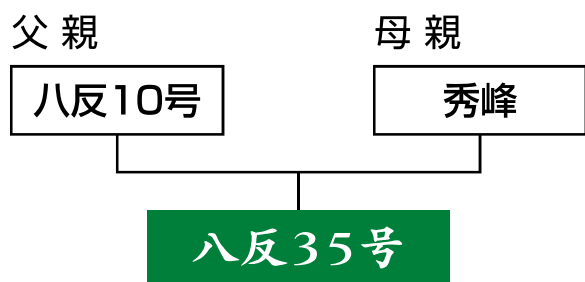
広島酒米を代表
するオリジナル

八反35号

はったん35ごう

「八反35号」は、「八反」の系譜を今に受けつぐ酒米。昭和35(1960)年に系統選抜されて育成しました。

◆「八反35号」の系統図



「八反錦1号」の父親。「八反」の系譜を今に受け継ぐ酒米で、昭和35年(1960年)に系統選抜で育成され、昭和37年(1962年)から奨励品種になり、当時は広島県を代表する酒米として評価されました。

「八反10号」を父、「秀峰」を母として人工交配し、系統選抜によって育成され、今でも根強い人気があります。

千粒重は約24gで「八反錦1号」よりもやや軽く、吸水は良好で溶けやすく、麴がよくはぜ込む米で女酒と言われるように、艶のある香りがなめらかで淡麗なタイプの酒に仕上がると言われています。

主な栽培地域は高宮町、三次市、比和町です。